

井上 直樹教授の模擬授業

地域 経営

あなたのまちは、どんなまち？ ～あのまちと数字で比べてみよう～

講師：井上 直樹

あなたの住んでいるまちは、大きなまちですか、小さなまちですか。あなたの好きなまちは、何で有名ですか、ほかのまちとどのように違うのでしょうか。日常生活や旅行を通じた体験、家族や友達の土産話・テレビ番組やインターネットからの情報などをもとに、あなたのまちに対する感想や印象はつくられています。

一方、人口、面積、名産品の出荷額、観光客数など、まちは、政府や自治体などの統計で数値化されています。まちに対するあなたの印象と数字で表されたまちの姿が一致しているか、確認してみると面白いですよ。

誰かに説明するとき、数字を使うとまちのことをより理解してもらえるかもしれません。とくに、過去からの数字の変化を見たり、ほかのまちと数字で比べたりすると、まちのことがより詳しくわかるでしょう。

この授業では、難しい統計の知識ではなく、RESAS(リーサス:地域経済分析システム)を使って、数字によって表された現在、そして、将来のまちの姿を分析し、まちの特徴と課題を明らかにする方法について理解していきます。

■ 受講人数の目安:特になし(1学年単位も可)

■ 所要時間の目安:45分程度

■ 高校でご準備いただきたいもの:パソコン、プロジェクタ、接続ケーブル、スクリーン、ワイヤレスマイク

キャ リア 形成

地域の問題を解決するのは誰だ ～地方公務員だけじゃない働き方～

講師：井上 直樹

男女を問わず、最近、公務員は特に人気の高い仕事といわれています。公務員は、国の行政機関などで仕事を考えたり、考えられた仕事を実行する国家公務員、そして、都道府県、市区町村など地方で住民のために働く地方公務員に分けられます。

皆さんのなかには「将来、生まれたまちや自分の好きなまちのために、地方公務員として働きたい」という希望をもっている人もいます。この場合、県庁、市役所、町役場などで働く地方公務員をイメージすることが多いのではないのでしょうか。

しかし、地方公務員は、病院、学校、水道局などで働く場合もあります。また、まちや地域のために働くのは、地方公務員に限りません。たとえば、まちや地域を越えて、地方において広域的に働く国家公務員もたくさんいます。さらに、公務員だけではなく、企業、NPO、地域コミュニティなど、多くの主体がまちや地域のために働いています。

私は、国家公務員、地方公務員、独立行政法人、民間企業などの仕事を経験し、大学の教員になりました。私自身の経験を踏まえ、まちや地域のために働く意味、そして、地域の問題を解決するための働き方を考えていきます。

■ 受講人数の目安:特になし(1学年単位も可)

■ 所要時間の目安:45分程度

■ 高校でご準備いただきたいもの:パソコン、プロジェクタ、接続ケーブル、スクリーン、ワイヤレスマイク